

余震に負けず、
頑張っています

〈ゆうゆうの里〉震災対応臨時ニュース No.23

2011年4月9日 (財)日本老人福祉財団
103-0012 中央区日本橋堀留町1-7-7
Tel:03-3662-3611 Fax: 03-3662-3656

岩手県遠野災害ボランティアセンター開設

【開所式】8日8時からの日本財団「ROADプロジェクト」岩手県遠野災害ボランティア支援センターの開所式が、地震の影響で静岡からボランティアを乗せたバスが高速道路を使わず一般道で来る事になり12時30分からとなりました。開所式までの間、ボランティア協会の方たちと20トントラックにいっぱい詰まった支援物資の搬入を一緒に行いました。白菜・キャベツ・大根など野菜類。トイレトペーパーやティッシュ。毛布や布団をバケツリレーのよう一列に並び運びました。12時30分ボランティアが到着し開所式が始まりました。遠野市長の挨拶に始まり、最後は関係者、ボランティア全員で「がんばろう」の掛け声三唱で閉式しました。

日本財団「ROADプロジェクト」
岩手県遠野災害ボランティア支援センター



プレハブだが、
暖い宿舎(2階)

開所式



支援センターのエアテントの中には、毛布や生鮮野菜がたくさん

【待ちに待った拠点】開所式後、今までお世話になった浄化センターを後にし、真新しい私たちの現地本部に引越し。プレハブ2階建て。1階は男女別トイレ、ユニットバス、洗濯機3台、洗面、ボランティア支援センターの事務所、厨房、管理者の部屋。2階は30畳の広間が2部屋あり男女別に別れています。本日開所したボランティア支援センターに宿泊するのは男性24名、女性3名。男性部屋は足の踏む場所が無い状態です。ただうれしい事があります。寒くない事です。浄化センターロビーでは厚着をして寝袋にすっぽり入っても寒さで目覚める事がたびたびでした。ここは寝袋が必要ないくらい環境が良いです。第1次隊の皆様すみません。(N)

定着してきた入浴介助

第2次派遣隊長レポート④

入浴支援(Kさん)

- 9:30 本日から新たに入浴をされるKさんに入浴のお誘いをするため自衛隊のお風呂から歩いて3分ほどのところにある以前弓道場として使っていた避難所に訪問しました。
- Kさんは奥様と一緒に生活されていました。私たち職員が名前を名乗ると「お風呂の迎えですか。私はバスで温泉まで行ったんだけど、主人は足が悪くて・・・」と奥様のご主人の状況を説明してくださいました。K様は寡黙な方でその間話されなかったが、最後に少し頭をさげて「お願いします。」と照れくさそうに言われていました。
- 11:15 お迎えのため避難所前に車を止め玄関に向かうと、あちらから奥様の手につかまりながらKさんが歩いて来られました。お風呂のお迎えが来るのをお二人玄関で待って下さっていたのです。
- 奥様と職員が入れ替わりKさんを車に乗せ、お風呂へ出発。Kさんはシャワーを浴びると「いい塩梅だ。」と言われ、満足されているようでした。職員が「お風呂に入るのはいつ振りですか」と尋ねると地震の後からだから・・・と言われるため3週間ほどお風呂に入れて居なかったようです。湯船につかると「あ〜。」と本当に気持ちよさそうに声を出されたKさんを見て、本当に介助冥利に尽きると思いました。
- Kさんを避難所へお送りすると奥様が待っておられ「ありがとうございます。また、お願いします。」と感謝されました。
- Kさんの近くにいらっやった女性の方は「お風呂入れてもらったの？良かったね。綺麗になったよ。」とKさんに声を掛けていました。また、その女性の方が、私たちにも「またKさんをよろしくね。」と言ってくださり、地道に我々の活動が広まって来ているという実感を持ちました。

入浴支援(Sさん)

- 第1次隊が介助したSさんの入浴のお誘いに行きました。〈ゆうゆうの里〉の職員とお伝えすると覚えておられ、衣類が少ないとの事で入浴

前に配給される支援物資庫に衣類を選びに一緒に。気に入った物があつたのか上着、肌着、下着3枚ずつ程持ち帰られる。

- 入浴では前は温度が熱くて浴槽に浸かられてなかったが、今回は温度も調度良いとの事で浸かれる。髭もかなり伸びておられ髭剃りもされる。ほとんど自己にてされ、剃り難い部分は援助させて頂く。
- 今回も本当に満足された様で、「いやーさっぱりした」と終始笑顔でおられる。次回もお誘いする事約束し、お願いしますと言われる。さらにSさんとのより良い関係に繋げていけると確信しました。

ニーズ調査

- ケアプラザおおつちに避難されて居られる方で、前回第1次隊で入浴されたSさんにご様子何う。ご夫婦で居られ、前回入ってからは入浴しておられないとの事で待っておられた様子でした。ご主人も今回の地震で足を悪くされ、奥様からご主人もお願いしたいと言われたため、ご主人にもお聞きし、了承頂き、明日(9日)の入浴お約束しました。

7日の地震の影響

- 7日深夜の地震の影響で、浄化センター横を通るJR釜石線は終日不通。電気は午後6時頃まで停電でした。信号機は機能しておらず交通整理する人も居ないので、かなり危険でした。停電に伴いコンビニや飲食店は店を閉め、大きなスーパーは限られた商品を店に並べ電卓で計算して販売していました。近隣のガソリンスタンドも営業しているのは1店のみ。ガソリンを指して長蛇の車の列。こちらに来てから初めてみた光景です。ガソリンはいつでも買えていたので何も気にしなかった。ガソリンの量は半分を切った位でまだ余裕があつたが、心配になり私たちも車の列に並んだ。並ぶ事約30分。購入できる量は10リットルのみ。一つの地震が及ぼす影響がここまで大きいのかと肌で感じました。 [2011年4月8日 23:11]

来週からは聖隷グループチームが遠野に派遣されます！
〈ゆうゆう〉派遣隊は大槌町小槌エリアを聖隷Gチームに委ね

未だ支援の届いていない他の地区へ行く予定です。

4月7日までの募金
累計809万円

東日本大震災救援募金(義援金)募集中

〈ゆうゆうの里〉及び本部事務所に募金箱を設置しています

- ☆ 寄付先や用途を指定される場合、寄付金控除のための領収書が必要とされる場合は、事務所へお申し出ください。
- ☆ 集まった募金は、日赤、共同募金会、NPOなどに送金し、被災地の救援活動や復興資金に充てます。